

# 情報の経済学と会計

## 第2回

### 不確実性と情報の関係

降水確率何%なら傘をもちますか？

## 今回のメニュー

- 不確実性に対処する手段としての「情報」
  - 情報による意思決定の改善
- 不確実性とは？
  - 確実であると判断できないこと
- 情報と不確実性の関係
  - 情報を利用する人間の介在

## 情報（復習）

- 情報の3つの側面
- 不確実性への対処手段としての情報
- 不確実性によって引き起こされる問題
  - 適切な行動や判断が何か分からない
- 情報はどうやって問題を緩和するのか？
  - より望ましい結果の得られる行動や判断を可能にする

## 不確実性とは？

- 不確定
  - 「そのことについて、確定であると判断することができない様子」（新明解国語辞典第5版）
- 2つの不確実性
  - 将来何が起こるか分からない（未来の不確実性）
    - ・ 明日の天気
  - 現在何が起きているか（または過去に何が起こったか分からない）（現在・過去の不確実性）
    - ・ 窓のない部屋にいるときの、外の天気

## 情報と不確実性の関係

- 朝，家を出るときに，傘をもっていくかどうか
  - もっている知識
    - ・ 今日の天気（現在についての知識）...例：晴れ
    - ・ 過去の天気（過去についての知識）...例：昨日...晴れ，去年の同じ日...晴れ
    - ・ 傘をもっていくかどうか？
  - 天気予報...午後の降水確率100%
    - ・ 傘をもっていくかどうか？
- 天気予報を知ることによって何が変わるか？
  - **これからとる行動が変わる！**

## 情報と不確実性の関係

- **すでに持っている知識ですべてのことが予測できるなら，追加的な知識は不要**
  - 追加的な知識は，意思決定を改善できないから
- **すでに持っている知識では，現在（過去）または将来について不確実なまま**
  - 現在や将来に何か判断する必要はないとき
    - ・ 追加的な知識は，不要（意思決定はないから）
- **不確実な状況の下で，何らかの判断を下さなければならぬ**
  - 知識によって，意思決定を改善できるかもしれない
  - **不確実性と情報の間には，人間の判断が介在！**

## まとめ

---

- 不確実性
  - 将来の不確かさ
  - 現在・過去の不確かさ
- 情報の必要性
  - 情報を手に入れて、それに基づいて判断することで、これからとる判断や行動がより望ましい結果に繋がる
- 不確実性への対処手段としての情報
  - （情報利用者の）意思決定の介在